

平成25年7月8日

学校評価委員会報告書

学校評価委員会

学校評価委員会を開催し、自己評価の結果および改善策について評価した結果を、ご報告いたします。

◎学習指導においては、

積極的に取り組んでおり、学習目標の設定、指導方法の研究により、学力の向上が図られていると評価できる。

放課後など、生徒に指導やアドバイスをを行う際、先生方が熱心に取り組む姿勢には、保護者として、安心感を持つ。

◎生徒指導においては、

挨拶・マナー・服装など規律ある生活習慣の指導がなされており、生徒も身に付けつつあると感じる。廊下で出会った時などの元気な挨拶に清々しさを感じる。これも、毎日の登下校時の校門での挨拶の指導や生徒の自主的な挨拶運動による成果だと評価できる。一方、一部の生徒の制服の着こなしが気になるのは、残念なことである。

また、学園内が、いつも清掃され、季節の花が植えられるなど、環境が整っているのは気持ちがいい。

その点では、生徒たちも学校の美化に対する意識が高まり、公共心の高揚にも通じる。こういうことは、家庭でも保護者が折に触れ話題にすることが望ましい。

◎進路指導においては、

進路学習、情報提供、ガイダンス等が行われ、生徒の希望、進路目標の実現において、きめの細かい指導がなされている。

◎人権教育においては、

周囲の人を尊重し、よい人間関係を築くなど、身近なところでは相手の良さを見つけようと努めている生徒たちは、おおむね友人関係を良好に保っていると感じられる。

◎総括として、

学校や先生方と家庭の距離が、大変近く感じられる。学習面、生徒指導面において、丁寧な指導がなされているものと感謝している。

アンケート結果で、学校生活での満足度において、保護者より生徒たちの評価の方が少し低い。生徒評価の改善には、保護者が保護者会やPTA行事などにできるだけ参加し家庭での様子などを先生に伝え、また、先生もこれまで以上に生徒一人ひとりの言葉に耳を傾けることが大切である。学校と家庭とが連携を密にし、生徒理解を共有することが生徒の満足度を向上させると考え、今後の目標としたい。